



令和4年度 一般会計の決算

歳出 682億9,087万円

()内は市民一人当たりの金額

歳入 730億4,225万円



用語説明 (歳入)

- 市税** 市民税や固定資産税などに納められた税金
- 国庫支出金** 市が行う特定の事業に対して、国から交付されたお金
- 地方交付税** 地方公共団体が等しく行政サービスを提供できるよう、一定の基準により国から自治体に配分された税金
- 県支出金** 市が行う特定の事業に対して、県から交付されたお金
- 繰越金** 前年度から繰り越されたお金
- 繰入金** 基金（市の貯金）や特別会計などから繰り入れられたお金
- 市債** 市が行う公共事業などの財源として、財政負担の平準化と世代間の負担の公平化などを図るため、国などから借入れたお金
- その他** 地方消費税交付金、使用料及び手数料、諸収入、地方譲与税、分担金及び負担金、財産収入、寄附金として納められたお金など

用語説明 (歳出)

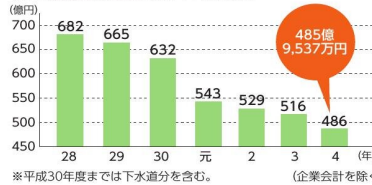
- 民生費** 高齢者や障がい者、児童の福祉推進などに使われたお金
- 総務費** 総務人事管理、財産管理、企画調整、地域振興、税務事務などに使われたお金
- 公債費** これまでに公共事業などの財源として借入れた借金（市債）の返済に使われたお金
- 教育費** 公立学校の管理運営や施設整備、生涯学習の推進などに使われたお金
- 衛生費** ごみ、し尿の処理や予防接種などに使われたお金
- 土木費** 道路や公園、公営住宅などの整備に使われたお金
- 商工費** 商業や観光の振興、企業誘致などに使われたお金
- その他** 消防費、災害復旧費、議会費、労働費、農林水産費などに使われたお金

◎財産の状況 (令和5年3月31日現在)

区分	現在高	
土地	3,664ha	
うち市有林	(2,017ha)	
建物	898,816㎡	
計	262億2,228万円	
基金	財政調整基金	62億7,048万円
	減債基金	31億7,686万円
	特定建設事業基金	46億8,413万円
	その他の基金	120億9,081万円
有価証券	2億4,150万円	

(企業会計を除く)

◎市債残高の推移 (令和4年度末現在)



皆 さんは給料などの入ってくるお金と、食費・光熱水費・教育費などの出ていくお金を計算しながら家計をやりくりしていると思います。

霧島市では、1年間にいくらかのお金が入ってくるか(歳入)と、どの仕事にいくらかのお金を使うか(歳出)を見積もり、計画を立てて運営しています。このようなお金の計画を見積もったものを「予算」、予算に基づいてやりくりした結果を「決算」といいます。

市では条例に基づき毎年11月、前年度決算と現年度の財政事情を公表しています。

令 和4年度の一般会計の決算は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響やエネルギー・食料価格などの物価高騰に対応するため、国の補正予算などに呼応し、15号に及ぶ補正予算を編成。13弾にわたる霧島市新型コロナウイルス感染症等緊急対応策を実施したことで、歳入が総額730億4225万円、歳出が総額682億9087万円となりまりました。

歳入から歳出を差し引いた形式収支は47億5138万円の黒字、さらに翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支(決算剰余)は35億2092万円の黒字となりました。

決算剰余金は法令に基づき、翌年度以降に積み立てなどを行うほか、各種事業の財源として活用します。

一般会計で管理する財産には土地・建物のほか、貯金に当たる「基金」があります。

霧島市の財政事情を公表します

まちの家計簿

市民一人当たりに使ったお金は

令和5年1月1日現在の人口

歳出決算額 682億9,087万円 ÷ 124,751人

= 54万7,417円 でした。



の返済が大きな負担とならないよう計画的な発行に努めており、合併以降は残高が減少しています。

令和5年度上半期(9月30日現在)の財政状況

ここでは今年度上半期の財政状況を紹介します。
一般会計予算現額754億3,706万円に対し、収入率が43.8%、執行率が36.7%となっています。

◎一般会計(歳入)

	予算現額	収入済額	予算構成比	収入率
市 税	163億8,680万円	105億1,352万円	21.7%	64.2%
国庫支出金	152億1,556万円	36億3,089万円	20.2%	23.9%
地方交付税	133億 円	99億5,394万円	17.6%	74.8%
県支出金	64億4,602万円	4億3,306万円	8.6%	6.7%
市 債	64億3,460万円	0円	8.5%	0.0%
繰入金	47億9,634万円	0円	6.4%	0.0%
繰越金	42億3,108万円	47億5,138万円	5.6%	112.3%
その他	86億2,666万円	37億7,993万円	11.4%	43.8%
歳入合計	754億3,706万円	330億6,272万円	100.0%	43.8%

◎一般会計(歳出)

	予算現額	支出済額	予算構成比	執行率
民生費	280億6,025万円	114億6,803万円	37.2%	40.9%
総務費	103億8,060万円	26億6,909万円	13.8%	25.7%
教育費	98億5,327万円	42億9,431万円	13.1%	43.6%
公債費	62億7,385万円	29億8,466万円	8.3%	47.6%
土木費	62億3,549万円	13億 280万円	8.2%	20.9%
衛生費	54億1,220万円	15億 624万円	7.2%	27.8%
農林水産業費	24億7,361万円	6億1,679万円	3.3%	24.9%
その他	67億4,779万円	28億6,327万円	8.9%	42.4%
歳出合計	754億3,706万円	277億 519万円	100.0%	36.7%

◎特別会計

会計名	予算現額	歳入		歳出	
		収入済額	収入率	支出済額	執行率
国民健康保険	144億8,010万円	58億4,982万円	40.4%	56億 632万円	38.7%
後期高齢者医療	17億 689万円	5億9,864万円	35.1%	5億9,992万円	35.1%
介護保険	124億7,861万円	51億5,036万円	41.3%	45億6,257万円	36.6%
交通災害共済	1,635万円	2,691万円	164.6%	229万円	14.0%
温泉供給	8,918万円	4,397万円	49.3%	2,486万円	27.9%

◎企業会計

会計名	収益的収入・支出				資本的収入・支出			
	収入	収入率	支出	執行率	収入	収入率	支出	執行率
水道事業	予算額	24億7,289万円	44.9%	19億9,897万円	17.2%	5億 300万円	30億5,295万円	23.8%
	収入済額または執行済額	11億1,005万円		3億4,409万円		0円	7億2,534万円	
工業用水道事業	予算額	2,745万円	20.0%	2,745万円	3.0%	0円	36万円	19.6%
	収入済額または執行済額	549万円		81万円		0円	7万円	
下水道事業	予算額	13億9,568万円	45.0%	12億3,500万円	13.7%	18億5,261万円	24億5,827万円	13.3%
	収入済額または執行済額	6億2,752万円		1億6,927万円		1億2,792万円	3億2,637万円	
病院事業	予算額	75億8,176万円	46.7%	75億7,943万円	43.2%	52億6,600万円	57億5,915万円	2.3%
	収入済額または執行済額	35億5,124万円		32億7,587万円		0円	1億3,129万円	

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。



霧島市では、年度ごとの「まちの家計」の収支を保ちながら、将来にわたり持続的な財政運営ができるよう取り組んできました。

今後も限られた財源を有効活用するために、既にある事業の効果や効率性などを常に検証した上で、内容の見直しを図り、節減・合理化の取り組みを進めます。

これからも市民の皆さんが安心して暮らすことができるよう、身の丈に合った健全な財政運営に努めていきます。

☎=財政課 ☎(6)0917

過去の財政事情はホームページに掲載しています。

令和4年度 特別・企業会計の決算

霧島市には、五つの特別会計と四つの企業会計があります。決算状況は表のとおりです。



◎特別会計

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険	143億4,937万円	142億7,751万円	7,186万円
後期高齢者医療	16億8,334万円	16億7,614万円	720万円
介護保険	117億3,852万円	111億6,953万円	5億6,899万円
交通災害共済	3,155万円	827万円	2,328万円
温泉供給	1億 152万円	8,870万円	1,282万円
計	279億 430万円	272億2,015万円	6億8,415万円

◎企業会計

会計名	収益的収入・支出		資本的収入・支出	
	収入	支出	収入	支出
水道事業	24億7,476万円	18億9,876万円	450万円	13億2,124万円
工業用水道事業	2,719万円	2,462万円	0円	3万円
下水道事業	13億1,601万円	11億2,416万円	3億4,366万円	9億 229万円
病院事業	66億5,214万円	69億5,661万円	7億6,520万円	13億5,229万円
計	104億7,010万円	100億 415万円	11億1,336万円	35億7,585万円

※資本的収入額が資本的支出額に対して不足する額は、損益勘定留保資金、利益剰余金などで補っています。

用語説明 収益的収入・支出/企業の経営活動に伴って発生する収益と費用(料金収入、人件費など)
資本的収入・支出/将来の経営活動に備えて行う建設改良などに関する費用とその財源となる収入

運営であるといえます。

◎主な指数など(決算統計、健全化法)

指数など	令和4年度	令和3年度
① 財政力指数	0.54	0.54
② 経常収支比率	87.2%	83.3%
③ 実質赤字比率	-	-
④ 連結実質赤字比率	-	-
⑤ 実質公債費比率	6.5%	6.6%
⑥ 将来負担比率	-	-
⑦ 資金不足比率	-	-

※「-」の表記は、赤字額、将来負担比率、資金不足額がないため、記載すべき比率がないことを表します。



用語説明	
① 財政力指数	地方交付税法に基づき算出した支出に対する収入の割合を指標化したもの(3年間の平均値)。一般的に「1」に近いほど、さらに「1」を超えるほど財政力が強いとされる。
② 経常収支比率	義務的経費など、削減が難しい経費がどの程度あるか指標化したもの。比率が低いほど、お金の使い道に自由度があるとされる。
③ 実質赤字比率	一般会計などの財政規模に対する実質赤字額の比率。(早期健全化基準:11.62%)
④ 連結実質赤字比率	全会計を対象とした財政規模に対する実質赤字額が資金の不足額の比率。(早期健全化基準:16.62%)
⑤ 実質公債費比率	財政規模に対する借入金返済額などの比率(3年間の平均値)。(早期健全化基準:25%)
⑥ 将来負担比率	一般会計などの借入金(地方債)や将来支払っていく可能性のある負担などの現時点での残高が、財政規模に占める比率。(早期健全化基準:350%)
⑦ 資金不足比率	公営企業会計の資金不足額の事業規模に対する比率(霧島市の公営企業会計:温泉供給、水道事業、工業用水道事業、下水道事業、病院事業)。(経営健全化基準:20%)

持続可能な財政運営のために

市のお金が足りているか
「借金をし過ぎていないか」など、市の財政が健全かどうかを判断する物差しとして、各種指標(下表)があります。

例えば、削減が難しい義務的経費などの経常的な支出(固定的に支出されるお金)が、市税など経常的な収入(安定的に確保できる見込みのお金)に占める割合を示す「経常収支比率」は、前年度と比べて3・9ポイント上昇し、87・2%となりました。

国が法で定めている「健全化判断比率」関係では、財政規模に占める借入金返済額の割合を示す「実質公債費比率」が前年度と比べて0・1ポイント改善し、6・5%となりました。一般会計と企業会計を含む全会計の実質赤字額に関する比率や、将来の実質的な財政負担の大きさを示す比率はいずれも、国が健全化を促す基準を下回っており、本市はおおむね健全な財政運営であるといえます。